

# DOCTOR PLAN NEWS

**&EARTH**  
with**WOOD**

2023 vol. 093

2023年11月24日発行 第93号 編集・発行 三井ホーム株式会社



CASE 1 〉ちばな内科・心臓血管クリニック 福岡県糸島市

CASE 2 〉あみ泌尿器科クリニック 茨城県稲敷郡

憧れを、かたちに。



MITSUI HOME

**三井ホーム**

## CASE 1 Chibana Heart Clinic

ちばな内科・心臓血管クリニック ◎所在地：福岡県糸島市 ◎診療科目：一般内科・循環器内科

### 1日も休診することなく 建て替え・移転の承継を実現

福岡県糸島の地で3代70年にわたり地域貢献されてきた医院が、新たに「ちばな内科・心臓血管クリニック」として移転・開業されたのが2021年10月。3代目である知花英俊先生への承継とクリニックの建て替えのお話が出たのは約7年前のことでした。先代の大先生は三井ホームに注目。「木造医院建築実績No.1が示す信頼性と三井ホームの高い堅牢性、そして優れたデザイン性を評価しました」という大先生のお考えに知花先生もご賛同されパートナーに選ばれました。

課題の一つは、休診せずに旧医院から新医院へ移転すること。そのため三井ホームでは様々なプランを検討した結果、旧医院で以前、病床などに使用していた建物の一部を建て替えて新医院にし、旧医院のあった場所を駐車場とすることに。「1日も休診せずに移転できたことで、ずっと受診していただいている地域の患者さんにもご迷惑をかけずに済みました。大変感謝しています」と両先生は語ります。

### 目指したのは入りやすいクリニック 若い世代の患者さんの増加を実感

新築にあたって知花先生が重視したのが、地域の方々が入りやすい雰囲気。「いかにも病院という建物ではなく、温かみのある空間であることをお願いしました。慢性疾患である生活習慣病や、心臓リハビリで一定期間、通院される患者さんも想定し、そうした方が癒される場所になると考え、三井ホームに依頼しました」。

三井ホームでは知花先生の想いを受け、まず外観は洗練されたカフェの趣を持つシルエットに。来院された方を迎えるエントランス部分には天然木を配し、温かみのあるアクセントにしています。また待合室は高い吹き抜けの空間とし、開放感を創出。さらにリハビリ室は窓を大きくとって、患者さんが気持ちよくリハビリに取り組める場所としています。「新医院となってから、若い世代の患者さんが増えたことを実感しています。これは建物の効果もあるのではないのでしょうか。木の香りのする気持ちのよい空間で、患者さんからも喜ばれています」。



## INTERVIEW



院長 知花 英俊先生

### チームとしての丁寧な取り組みに感謝しています

建物全体のデザインにとっても満足しています。初診の患者さんに「外観を見て、最初は医院とは思わなかった」と言われた時は、意図した通りだと嬉しかったですね。三井ホームとは、途中、私がアメリカに留学したこともあって、約7年間という長期間にわたるお付き合いになりましたが、その間も資料の提供やプランの提案など、丁寧に対応してもらいました。何より営業担当を中心に設計士、インテリアコーディネーターなどに、チームとして取り組んでもらったことに大変感謝しています。



[営業担当] 熊本支店 医院開業アドバイザー 下田 康弘

これまで私が関わってきた中でも、外観やインテリアに非常にこだわった医院になりました。トータル7年以上にも及ぶプロジェクトとなりましたが、ディテールまでしっかりとお打ち合わせができたと思います。知花先生の新医院への想いも強く、それにお応えできたのではないかと考えています。



2



3

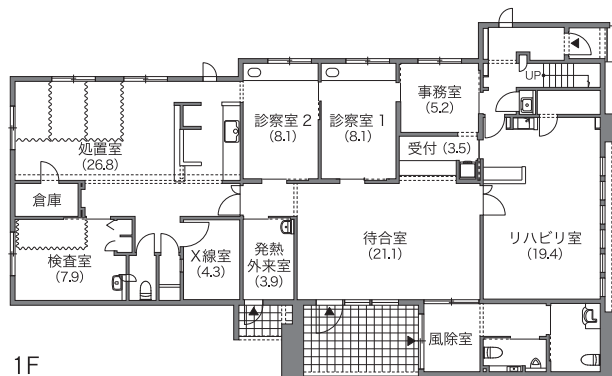


4

1. カフェのような佇まいを目指したという、ちばな内科・心臓血管クリニック。クリニック名も欧文とし、ツートンのカラーが洗練された印象に。エントランス部分にはレッドシダの天然木を貼って、温かみのあるアクセントに。2. 高い吹き抜けが気持ちのよい待合室。床と天井は木の風合いで、高い窓から覗く軒下も木調に。間接照明も取り入れて、医療機関のイメージを払拭した心地よさと開放感をもたらしている。3. 受付はカウンターと背後の壁に木を貼り、壁にはさらに緑のモールを配して自然に癒されるイメージを作り出している。4. 木に包まれた印象の落ち着いた診察室。患者さんの緊張を和らげる空間となっている。

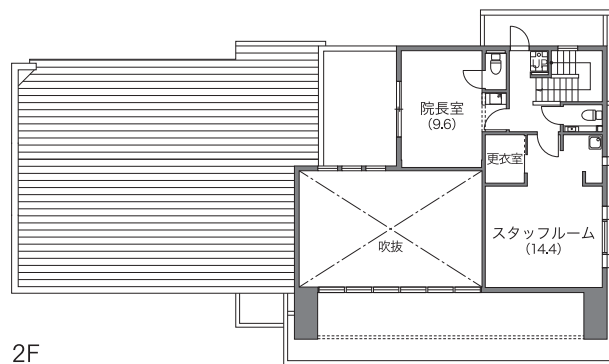


**1.**一般のクリニックとしては珍しいという広さと本格的な機器を備えた、心臓リハビリのためのリハビリテーション室。大きな窓に向かって機器を配置し、患者さんが気持ちよくリハビリに取り組めるよう配慮している。壁面はダークな色合いとし、集中できる空間を目指したとのこと。また心拍数のモニタリングなどは診察室に送られるようになっている。**2.**X線室も白い壁に囲われた空間にせず、温かみを考慮。**3.**ゆとりを持ったスペースを確保した処置室。救急搬送ためのストレッチャーが入って来られるよう、動線も確保している。**4.**検査室は処置室の近くに。エルゴメーターによる負荷心電図検査も可能。またエコー検査をする際に画像を見やすいようカーテンで仕切り、暗くできる。

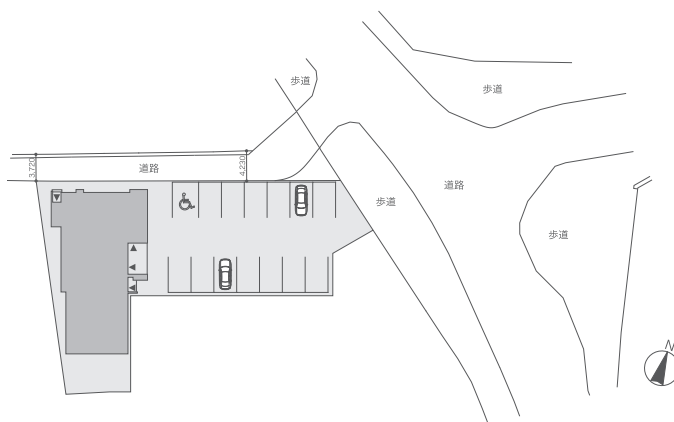


1F

平面図



2F



配置図

敷地面積 / 812.30㎡ (245.72坪)  
 建築面積 / 244.47㎡ (73.95坪)  
 1階床面積 / 221.77㎡ (67.08坪)  
 2階床面積 / 56.56㎡ (17.11坪)  
 延床面積 / 278.33㎡ (84.19坪)

## CASE 2 Ami Urology Clinic

あみ泌尿器科クリニック ©所在地：茨城県稲敷郡 ©泌尿器科・一般内科・美容内科・小児内分泌科

### 理想の土地との出会いによって 開業への思いが一気に高まった

2023年7月、茨城県・阿見町で開業した「あみ泌尿器科クリニック」。院長の鴨田直博先生は、地域に泌尿器科の医院がなかったことから「地元の方が気軽に相談できる場所をつくりたい」と同地を選ばれました。

「開業には不安がつきものですが、この土地を三井ホームが提案してくれたときに、ここならできると気持ちが固まりました」。周辺は様々な医院が集まる、通称「クリニック通り」。その一角にあり、道路からの視認性もよく面積も十分。その利点を生かし、建物の前には20台以上の駐車スペースを確保し、高齢の患者さんのために段差なしで院内に入れるよう完全バリアフリーの設計となっています。

「実家を三井ホームで建築した関係で、住宅メーカーとして信頼しており、開業に際しては、三井ホーム一社検討でした。当初は建物に対する具体的なイメージはありませんでしたが、つくばや牛久で三井ホームが手がけた医院を見学できたことで思いが膨らみましたね」。

### 泌尿器科の固定観念を取り去る 入りやすい印象の建物に

院内に入ると、正面にはトイレ、右手には勾配天井が特徴的な待合室と受付、その先には中待合や診療室などが配置されています。「海が好きなので、カリフォルニア風の医院にしたいと思いました。そこで窓を大きめにし、天井や壁の一部に木目を用いて明るい雰囲気にしてもらいました」と鴨田先生。その結果、入りやすい印象となり、一般的には男性患者さんが多い泌尿器科にあって、6対4で女性の占める割合が高いという特徴につながりました。泌尿器科で必須の検査である検尿のためのトイレを入口のそばに配置したのも、科目としての閉鎖性を払拭するため。院内の換気に配慮し、トイレと処置・診察室を離すことで臭気等の対策も万全です。さらに患者動線とは別にスタッフ動線も確保することで、過ごしやすく働きやすい医院となりました。「三井ホームは、医院らしくない医院をつくりたいという私の漠然とした要望をうまく汲み取ってくれました。理想の仕上がりです」との言葉をいただきました。



ブルーグレーと木調の取り合わせが、落ち着いた爽やかさを感じさせる外観。建物の手前には、鴨田先生自らが樹形を選んだというソテツが枝葉を茂らせる。

INTERVIEW



院長 鴨田直博先生・看護師 鴨田幸依さん

将来を見越した適切な提案に感謝

開業して3か月経った今、想定以上の来院者数となり、手応えを実感しています。その中で、CTや膀胱鏡といった現在導入していない検査機器を入れ、クリニックの拡充を考えるようになりました。三井ホームはこうした状況を見越し、X線室の脇にCT室を増築できるように、また処置室で膀胱鏡を行うならば流しや洗浄機用の配管を通しておくよという提案をしてくれました。伸び代を秘めたクリニックができたことに感謝しています。



鴨田先生と奥様で看護師の幸依さんを中心に、三井ホームの片外(左)とリコーリースの齋藤康太さん。

[ 営業担当 ] 茨城中央ホーム(株) つくば支店 医院開業プランナー 片外 喜久

最初に鴨田先生とお会いしたのが2022年1月頃。そこから私が担当した茨城県内の医院を見学させていただきつつ、候補地を探しました。当地は先生からご要望のあった病院との連携も取りやすく、クリニック通りであったこと、道路向かいにはコンビニもあって視認性も抜群であったことから、自信をもってご紹介しました。順調に患者さんの来院数が伸びていることを大変嬉しく思います。



1



2



3



4



5

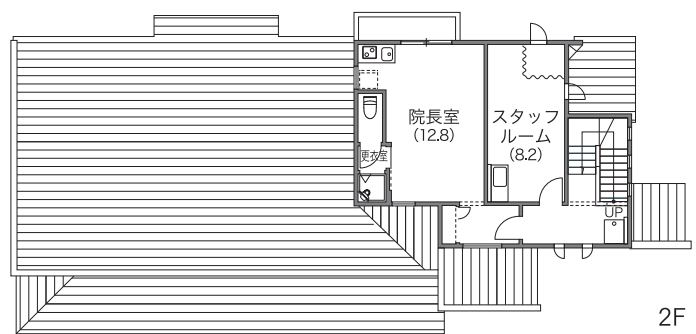
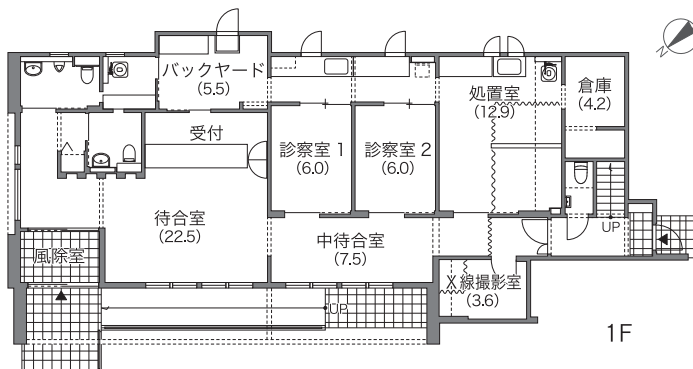


6



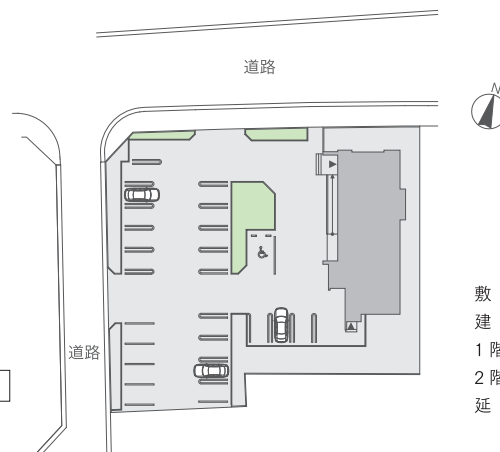
7

1.木目とブルーを効果的に用いた受付・待合室。完全バリアフリーの院内は、車椅子やストレッチャーが十分通れる広さを確保。土足制の院内は、汚れが目立ちにくいよう大理石調の床材が選ばれている。2.診察室の壁も一面だけ木目調に。「これから何千時間も過ごすことを考えると、自分のテンションを上げる設えにしたいと思いました」と鴨田先生。3.広々としたトイレは、清掃のしやすさから壁付けの便器が採用されている。4.待合室から続く中待合の通路幅もゆとりの広さ。左手には診察室がある。5.検査やスタッフ動線に配慮して計画されたX線撮影室。この部屋の隣が将来CT検査室となる予定。6.休息の場でもある2階の院長室は、ダークトーンで落ち着いた印象。7.院長室の隣にある2階スタッフルーム。窓が多く明るい印象。



平面図

配置図



敷地面積 / 1,225.93㎡ (370.84坪)  
 建築面積 / 179.74㎡ (54.37坪)  
 1階床面積 / 153.19㎡ (46.34坪)  
 2階床面積 / 49.91㎡ (15.09坪)  
 延床面積 / 203.10㎡ (61.43坪)

※2014年度～2021年度累計 住宅産業研究所調べ  
 ※住宅併用でない木造医院建築の新築着工棟数実績  
 ※一部データ欠損エリアがあります、詳しくはお問い合わせください

木造医院  
 建築実績  
**No.1**

DOCTOR'S TREASURE BOX  
**DOCTOR'S 宝箱**

「DOCTOR'S宝箱」は、医院経営に役立つ情報やドクターの生活を充実させるためのヒントをご提供する三井ホーム完全オリジナルのコンテンツです。毎月更新でタイムリーな情報をお届けしています。



**待ち時間ストレス解消策**  
 患者さんの待ち時間を減らす工夫



**事務長の役割を考える**  
 いつ、どんな人を採用する



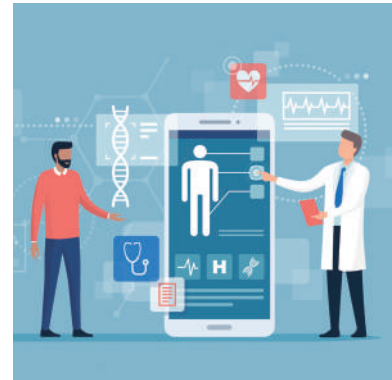
**医療マンガの力**  
 グラフィック・メディスンの活用



**誹謗中傷や風評被害**  
 クリニックを守るために



**クリニックの栄養管理**  
 患者さんのQOL維持に目を向ける



**PHR(パーソナルヘルスレコード)**  
 本格活用に向けて知っておくべきこと



**ユマニチュード**  
 高齢者とのコミュニケーション技法



**スタッフの離職を防ぐ**  
 クリニックを円滑に経営するために



**ドクターの副業事情**  
 副業のメリットと注意点

「DOCTOR'S宝箱」をご覧いただくためには、三井ホームのドクター専用サイト「WITH DOCTORS」への会員登録が必要です(無料)

三井ホームの医院建築

**WITH DOCTORS**



三井ホーム 医院 検索